

平成25年度 射水市公募提案型及び地域提案型 市民協働事業審査会



IMIZU CITY

日 時：平成25年5月26日(日)午後1時30分
場 所：射水市役所小杉庁舎3階303・304会議室

射水市市長政策室
まちづくり課

次 第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 審査委員の紹介
- 4 審査会の進行説明
- 5 提案団体によるプレゼンテーション（公募提案型市民協働事業）
- 6 休憩
- 7 提案団体によるプレゼンテーション（地域提案型市民協働事業）
- 8 事務連絡
- 9 閉会

審査会の進行等について

1 進行表

13 : 00	受付開始
13 : 30 ~ 13 : 40	審査会開会 (303・304 会議室)
	あいさつ
	審査委員の紹介
	審査会の進行説明
13 : 40 ~ 15 : 05	公募提案型市民協働事業 提案団体によるプレゼンテーション (5 団体)
	1 特定非営利活動法人 日本応急手当普及員協会 2 特定非営利活動法人 日本文化交流センター 3 自然環境ネットワーク・射水市ビオトープ協会 4 特定非営利活動法人 健康麻将越中ひばり会 5 特定非営利活動法人 いみず市民メディア
15 : 05 ~ 15 : 15	休憩
15 : 15 ~ 16 : 05	地域提案型市民協働事業 提案団体によるプレゼンテーション (3 団体)
	6 庄西地域振興会 7 大門地域振興会 8 太閤山団地自治会発足 35 周年記念事業 「ふるさと納涼祭」開催実行委員会
16 : 05	事務連絡
16 : 10	審査会閉会

2 発表方法

- ・発表時間は、1団体7分間とします。
- ・発表開始後6分経過時にベル1回、7分経過時に2回鳴らします。
- ・発表後の審査委員からの質疑応答は8分間です。
- ・質疑応答開始後7分経過時にベル1回、8分経過時に2回鳴らします。
- ・前の発表団体の質疑応答が始まりましたら、次の発表団体は速やかに発表の準備に取りかかってください。

3 審査基準

(1) 公募提案型市民協働事業

- ・地域課題や市民ニーズの把握、公益性
- ・団体の特性と役割分担の妥当性
- ・期待できる事業効果
- ・事業の実現性
- ・提案団体の実施能力
- ・提案団体の自立性、事業の継続性

(2) 地域提案型市民協働事業

- ・地域課題や市民ニーズの把握、地域特性
- ・役割分担の妥当性
- ・期待できる事業効果
- ・事業の実現性

4 事業決定

事業決定については、審査会の報告を踏まえ、市長が決定します。

5 発表順

NO	区分	団体名	事業名	ページ
1	公募	特定非営利活動法人 日本応急手当普及員協会	子ども救急員育成プロジェクト Kids Fast Aid School 「子どもたちが大切な命を守る！」	5
2	公募	特定非営利活動法人 日本文化交流センター	エイジレス元気づくり射水	7
3	公募	自然環境ネットワーク・ 射水市ビオトープ協会	生物多様性保存型里山ビオトープの形成に 関する事業	9
4	公募	特定非営利活動法人 健康麻将越中ひばり会	『射水いきいき元気事業』で、健康づくり と仲間づくり	11
5	公募	特定非営利活動法人 いみず市民メディア	射水発「ローカルアイドルプロジェクト」	13
6	地域	庄西地域振興会	児童・地域住民のいこいの芝生広場	15
7	地域	大門地域振興会	地域住民でつくる大門多目的広場	17
8	地域	太閤山団地自治会発足35周年記念事業 「ふるさと納涼祭」開催実行委員会	太閤山団地自治会発足35周年記念事業 「ふるさと納涼祭」および「ふるさと写真展」	19

射水市公募提案型市民協働事業 事業計画書

団体名 NPO 法人 日本応急手当普及員協会

<p>事業の名称</p>	<p>子ども救急員育成プロジェクト Kids Fast Aid School「子どもたちが大切な命を守る！」</p>	
<p>事業の目的</p>	<p>救命率を上げるためには「バイスタンダーCPR」(その場に居合わせた人の心肺蘇生法)の実施が不可欠になって来ていますが、市民の救急講習の必要性の認識は、まだまだ低いものであります。そこで当協会は、救急講習は意識づけで大きく向上するのではないかと考え、早い段階から(小学生に)救命講習を施し興味を持たせて救命率向上につなげる事と、命の大切さや、その大切な命を守る術を学び、イジメや命を粗末にする事が少しでも無くなる事を目的とする。</p> <p>また保護者の方たち大人にも救命講習の必要性を再認識して貰い本市の救命率向上につなげることが、この事業の大きな目的である。</p>	
<p>事業内容 (複数の事業がある場合は別紙添付でも可)</p>	<p>対象</p>	<p>市内の全小学校の児童を対象にしていますが、今回は、初の取り組みとして射水消防署管内の小学生 5・6 年生と射水市内で活動する子どもに関する団体に参加募集をして、希望者を対象に開催する。</p>
	<p>手法</p>	<p>7 月中に射水消防署にて応急手当基本講習を開催し、消防署員に協力して貰い参加者に応急手当の基本を習得させる。基本講習修了後 8 月中に応用と復習を繰り返し練習して応急手当を熟知し、認識を高めて 9 月 7 日(土)に模擬救急体験現場をクリアして講習成果を発表する。発表成果を踏まえて次の事業展開を図る。</p>
	<p>目標</p>	<p>(目的とする結果、数値基準等) バイスタンダーによる救命率向上には、講習受講者を増やす必要があるが、なかなか受講者数が増えない中、より早い段階である小学生を対象にすることで、意識が高まり、またその効果がより高まるものと考えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講習会等を通して、その必要性と認識度を高める。 ・市内の小学生が興味と感心を持つことで救命率向上を図る。 ・修了者には「子ども救急員認定証」を付与することで、インセンティブを高める。
<p>協働事業として取り組むことの必要性</p>	<p>(団体や行政の特性から説明してください。) 今や救命率を向上する為には、ライフサイクルの早い段階(小学生)での救命講習受講が不可欠であります。行政だけで行うと言う事では無く NPO と協働事業とすることで更なる効果が期待される。</p>	
<p>役割分担</p>	<p>(提案団体が果たす役割) 育成講習・イベントの企画・運営・イベント終了後のフォロー</p>	
	<p>(事業実施に伴う市の役割) 広く市民に広報・職員の認識向上・会場提供(消防署)</p>	

<p>事業スケジュール (別紙添付でも可)</p>	<p>(準備期間、本実施期間、事業の評価等のスケジュール)</p> <p>6月上旬 参加募集開始 講師等調整 準備期間 7月 射水消防署にて参加者が応急手当基本講習受講 8月 講師による講習会 応用・復習を繰り返し練習(3回~5回程度) 9月7日 射水消防署にて講習成果発表会 10~2月 第2回「子ども救急員」育成講習会開催に向けて準備 全小学校での救命講習が出来るように普及啓発活動 一般救命講習の開催など応急手当普及啓発活動の強化 3月 報告書作成</p>
<p>事業効果</p>	<p>(事業に取り組み、市民がどのような効果を受けるか。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちが救命講習に興味と感心を持つ。 ・参加者の保護者が必要性を再認識する。 ・本市の救命率向上につながる。 ・市民がNPO活動に理解を深める。 ・行政とNPOが互いに更なる理解を深め活動の輪が広がる。
<p>事業展開</p>	<p>(協働事業終了後の事業展開)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市の全小学校での救命講習開催 (子ども救急員を増やす) ・子どもたちに対して、命の大切さや命を救う術を学ばせて、イジメや命を粗末にする事が無いように更に訴えかけて行く。 ・本市の救命率の更なる向上の為、普及啓発活動の強化

射水市公募提案型市民協働事業 事業計画書

団体名 特定非営利活動法人日本文化交流センター

事業の名称	エイジレス元気づくり射水	
事業の目的	<p>（解決すべき地域課題と市民ニーズ）</p> <p>1．高齢者（60才以上を対象）の元気づくり＝地域の活性化めざす。 2．父母から次世代へ生活民話文化を伝承する 3．現存する活動場所を活かし、憩いの場＝ふれあい仲間を増やす。</p>	
事業内容 (複数の事業がある場合は別紙添付でも可)	対象	<p>（どこで、だれに等）</p> <p>市外の観客、参加者も交流し大歓迎</p>
	手法	<p>（いつ、どのように、何を等）</p> <p>1．リーダー研修会を毎月2回開催 2．スケジュール 6月～9月14日まで 射水市内に残る民話を調査 類似した“海・川・動物の登場する”日本古来の民話（近隣諸国の民話など含む）と比較し、共通な逸話を調査・紹介する 射水市の祭り文化歴史の調査（2013春祭り秋まつりの歴史と音楽文化） 上記の調査講師を公募します。（推薦可能） まとめ冊子の編集～印刷（さし絵・写真を記載）</p> <p>7月～9月上旬 発表講師を公募し研修育成</p> <p>9月15日（敬老の日）～1月まで下記会場で発表予定 発表会の開催（プロジェクター使用） お話に、絵本と音楽を入れた民話の紹介 開催予定会場・川の駅新湊 ・道の駅新湊 ・小杉ふれあいセンターいろりの里 ・足洗い老人福祉センター</p> <p>（ラベンダー作品づくりサークル・バルーンアート・お手玉・囲碁などの体験をプレイクタイムに取り入れる） 2月 反省会と活動報告書の作成</p>
	目標	<p>（目的とする結果、数値基準等）</p> <p>1．高齢者の元気づくり＝地域の活性化 ……自治会と観光ボランティアの支援いただきます。 2．祖父母から次世代へ生活民話文化を伝承する ……家族のふれあい時間の一つになることをめざします。 3．現存する活動場所を活かし、ふれあい仲間を増やす。</p>

協働事業として取り組むことの必要性	<p>(団体や行政の特性から説明してください。)</p> <p>自治会への働きかけ、広報の協力、活動コミュニティ場所の提供支援をお願いし、市民と行政と一緒に取り組み、少子高齢化の改善に貢献したい。射水市の民話と歴史文化の調査には行政の協力で、より内容が正確に味のある内容にまとめ、今後の民話の紹介や民族音楽の紹介に活かします。</p>
役割分担	<p>(提案団体が果たす役割)</p> <p>過去のNPO活動実績を活かして、リーダーの育成と企画事業の進行をし、ふるさと活性化に尽力します。</p> <p>(事業実施に伴う市の役割)</p> <p>自治会への働きかけ、広報の協力</p>
事業スケジュール (別紙添付でも可)	<p>(準備期間、本実施期間、事業の評価等のスケジュール)</p> <p>6月 = 準備委員会の発足と会議</p> <p>6月～9月 毎月2回リーダー研修会(他市町村の市外研修も検討中) 講師公募の結果を審査面接 講演の手法を検討 調査～まとめ～編集検討会をリーダー研修と同時に可能 冊子の校正～印刷</p> <p>9月中旬～1月 発表会 = 会場を検討調整し合計4回開催</p> <p>2～3月 報告書作成</p>
事業効果	<p>(事業に取り組む、市民がどのような効果を受けるか。)</p> <p>目的の</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者の元気づくり = 地域の活性化めざす。 2. 父母から次世代へ生活民話文化を伝承する 3. 現存する活動場所を活かし、憩いの場 = ふれあい仲間を増やす。 <p>以上の成果を具体的に出すことができる。 アンケートも取りまとめます。</p>
事業展開	<p>(協働事業終了後の事業展開)</p> <p>声かけした市民観光ボランティアやNPO会員と協力して高齢者の元気づくりを継続します。 地域リーダーの存続と継承をめざす。 情報収集を活かした「射水の民話と祭り歴史」を伝える活動を継続。</p>

射水市公募提案型市民協働事業 事業計画書

団体名 自然環境ネットワーク・射水市ビオトープ協会

事業の名称	生物多様性保存型里山ビオトープの形成に関する事業	
事業の目的	<p>(解決すべき地域課題と市民ニーズ)</p> <p>地球的規模で進行する生物多様性・生態系の破壊に対応するために、2010年に名古屋市で開催された生物多様性条約第 10 回締約国会議 (COP10) において日本から提案された SATOYAMA イニシアティブが採択され「サトヤマ」が「サムライ」や「ジュードー」等と同じように国際語になった。『地球規模で考え・地域規模で行動する』をモットーにし、原生的自然は、少ないが、里山地域は多くある射水市において生物多様性・生態系の理念を啓発し、地域在来の動植物の保存を図るとともに過疎化や高齢化の進行による里山衰退を防ぎ地域の活性化を図る。</p>	
事業内容 (複数の事業がある場合は別紙添付でも可)	対象	<p>(どこで、だれに等)</p> <p>射水市内の里山地域 青井谷の西谷地区周辺 旧射水市交流セミナーハウス周辺・この地区には 5 世帯の住宅があったが、本年 3 月に最後の住人が移転し、現在は無人となっている。耕作放棄、あるいは休耕されている農地も多く、外来植物のセイタカワダチソウ等が繁茂し里山としての生物多様性がうしなわれつつある。 この地域において全市民を対象にした事業を行う。</p>
	手法	<p>(いつ、どのように、何を等)</p> <p>生物多様性保存型の池を中心とする里山ビオトープを形成し、その維持管理に関する事業を通し、ホテルやモリアオガエル・サンショウウオ等の在来生物の保存を図るとともに、そのビオトープを中核として生物・自然とふれあう事業を行い、子どもの健全育成を図り、社会教育の推進を図る。</p>
	目標	<p>(目的とする結果、数値基準等)</p> <p>生態系・生物多様性の理念の普及を図り、年間 1,000 人の参加を目標とし、地域の交流人口を増加し地域の活性化と人と自然が共生できるまちづくりに寄与することを目標とする。</p>
協働事業として取り組むことの必要性	<p>(団体や行政の特性から説明してください。)</p> <p>生物多様性基本法(平成 20 年 6 月施行)では、『都道府県及び市町村は(中略)生物の多様性の保全及び(生物資源の)持続可能な利用に関する基本的な計画(生物多様性地域戦略)を定めるよう努めなければならない』と規定されています。(第 13 条)。努力規定ではありますが、石川県や魚津市等においては、すでに策定され富山県も検討会を発足させています。私達の会は、長年にわたり、自然環境の調査・観察・研究などの事業を行ってきましたが、この事業こそ協働事業として取り組む意義があるものと考えます。</p>	

役割分担	(提案団体が果たす役割) ビオトープの維持管理作業、地域特有の生物の収集保存調査活動、ビオトープを活用した市民等への啓発活動
	(事業実施に伴う市の役割) ビオトープ形成に関する指導・助言及び財政的支援・広報活動の支援
事業スケジュール	(準備期間、本実施期間、事業の評価等のスケジュール) 事業スケジュール
	6月下旬 基本設計をNPO法人「日本ビオトープ協会」に委託
	7月10日～20日 ビオトープ池の造成工事 NPO法人「日本ビオトープ協会」の指導のもと施工できる業者を委託
	7月21日～11月30日 地域在来の動物・植物の呼び込み及び移植 会員をはじめ広く市民の参加を呼びかけて継続的に実施する
準備期間 平成25年1月～6月NPO法人「日本ビオトープ協会」とビオトープの基本構想の協議 平成20年8月～平成25年5月まで周辺地域の生物(特に両生類および昆虫)の調査 事業終了後も引き続き実施する 事業の評価のポイントは、何人がビオトープ形成活動に参加するか、何人がビオトープを利用した活動に参加するかという点及び、本来その地域に生息していた生物がどれだけ保存されるかという点。 評価のスケジュールは、毎年と10年～20年後という2つの観点で行う。	
事業効果	(事業に取り組み、市民がどのような効果を受けるか。) 市民参加型の自然保護活動・自然観察の会・ビオトープ教室・講座・講演会などを連続的に開催することにより、子どもの健全育成・社会教育の推進を図る機会が提供され、人と自然が共生できるまちづくりの一端を担える。
事業展開	(協働事業終了後の事業展開) この事業は、一旦形成すれば、終わりではなく継続した維持管理作業が必要であり、継続のためには、次世代へのバトンタッチも必要であり多くの人に参加してもらえよう努力する。 年次ごとに第1期・第2期事業を行いより充実したビオトープに拡充する。

射水市公募提案型市民協働事業 事業計画書

団体名 特定非営利活動法人健康麻将越中ひばり会

事業の名称	『射水いきいき元気事業』で、健康づくりと仲間づくり。	
事業の目的	<p>高齢者向けの脳老化予防のための脳内トレーニングとして、リハビリ効果のある指先トレーニングとして、将棋や囲碁、オセロなどの頭脳トレーニングも含めて、対話のできる、笑顔になれる四人で卓を囲んで楽しむ</p> <p>『健康麻将(まーじゃん)』をツールとして活用します。参加される市民が、楽しく笑顔になれる生きがいと言える健康づくりと仲間づくりを目的に、事業を展開します。</p> <p>『健康麻将(まーじゃん)』とは、 お金を賭けない お酒を飲まない たばこを吸わない の 3 ナイ主義が原則の 21 世紀型まーじゃんです。</p>	
事業内容 (複数の事業がある場合は別紙添付でも可)	対象	<p>射水市内の住民すべての方が対象です。 特に、60 歳以上の高齢者を対象にしています。 認知症予防、介護予防として展開します。</p>
	手法	<p>地域の行政施設を利用します。コミセンや公民館など。</p> <p>地域リーダー育成講座を 4 回開催 (健康麻将全国会等より講師派遣) 講師育成講座を 4 回開催 (初心者講座の内容を確立します)</p> <p>『健康麻将』のイメージ向上のために、 医学博士の研究成果とミニ講演を開催。 金沢市の女性麻将士との交流競技会を開催。 (健康麻将競技会を開催)</p> <p>初心者講座を 8 回開催、3 会場。 (地域リーダー等が講師となり、指導します)</p>
	目標	<p>将来は、行政施設に限らず、射水市内のどこでも出向き、講座を開催して、健康づくりと仲間づくりを展開します。</p> <p>2 回 / 1 ヶ月の定期講座開催をベースに、随時出前講座を展開できる体制作りを目指します。 文化サークルとしての位置付けを目指します。</p>

<p>協働事業として取り組むことの必要性</p>	<p>高齢者向けの健康づくりと仲間づくりを、射水市の職員の方と協働事業として取り組むことにより、健康麻将の確立とイメージアップがはかれ、地域のコミュニケーションツールとなれば、若者、女性の愛好者も増加して、高齢者だけに限定しないネットワーク作りができる。</p> <p>楽しい健康麻将が、生涯学習の一つとして、文化サークルとしての位置付けを実現できると確信します。</p> <p>すでに金沢市では、金沢健康麻将協会が設立し、地域の認知と活動が定着しています。女性だけの健康麻将競技会も今年から、開催されます。射水市での展開の事例として参考になります。厚生労働省の『ねんりんピック』の正式種目にもなりました。射水市からの参加への基盤整備にもなります。</p>
<p>役割分担</p>	<p>(提案団体が果たす役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初心者講座と実践講座の常設化 ・地域住民のマンパワーの創出(地域リーダーの育成) ・参加して楽しい健康麻将講座の開催 ・ポイント競技健康麻将競技会、リーグ戦の確立 ・積極的な出前講座による指導体制をつくる。 <p>(事業実施に伴う市の役割)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報の活用 ・行政施設利用の協力 ・射水市内の施設や団体への出張講座の案内 ・いみず CATV や FM いみず 等への交渉
<p>事業スケジュール</p>	<p>地域リーダー育成事業(外部講師) 6月から9月まで、4回開催</p> <p>講師育成事業(クラブ講師) 6月から9月まで、4回開催</p> <p>イベント事業 10月の日曜日に、女性麻将士を迎えて、 医学博士の講演と健康麻将競技会の開催</p> <p>初心者講座事業(地域リーダー講師) 10月から2月まで、8回開催</p>
<p>事業効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の健康麻将に対するイメージアップ ・仲間づくりができ、笑顔のある楽しい人の増加 ・生きがいのある人の増加 ・楽しく会話しながら、指先と頭の活性化ができる ・文化サークルとしての確立 ・女性愛好者、若者愛好者の参加増加 <p>地域住民のネットワーク 絆・つながり 射水市への愛着 自分たちのことは、自分たちから 生きがいと誇り 地域が活性化 自主防災などへの参加につながる</p>
<p>事業展開</p>	<p>この事業は、単年度で終了するものではなく、継続的に仲間を増やして、射水市での愛好者によるポイント競技大会を開催したりもできるくらいにしていきたいと考えています。</p> <p>商品には、射水市内の施設利用券や特産品を利用して、健康づくり、仲間づくり、そして地域の活性化と愛着、地域住民誰もが健康でいきいきと輝くまちづくりを目指します。</p> <p>『ねんりんピック』の正式種目にもなっており、富山県代表を射水市から参加できる基盤整備、組織づくりを展開します。</p>

射水市公募提案型市民協働事業 事業計画書

団体名 特定非営利活動法人いみず市民メディア

事業の名称	射水発「ローカルアイドルプロジェクト」	
事業の目的	<p>（解決すべき地域課題と市民ニーズ）</p> <p>地元の魅力を広く発信して交流人口を増やし地域を活性化しようと、各自治体は「ゆるキャラ」をはじめ、あの手この手のPR作戦にしのぎを削っています。しかしその一方で、高齢化や少子化などを背景に、地元の元気が低下する傾向にあることは否めません。この事業は、「もっと元気に、もっと楽しく、もっと夢を！」をキャッチフレーズに、歌って踊れる射水の「ご当地アイドル」を誕生させることで、若い世代を巻き込んだ、地域活性化に貢献することがねらいです。</p>	
事業内容 (複数の事業がある場合は別紙添付でも可)	対象	<p>（どこで、だれに等）</p> <p>原則として射水市在住の、小学生（高学年）や中学生。</p>
	手法	<p>（いつ、どのように、何を等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ローカルアイドルのメンバーを公募し、応募者に対しオーディションを実施する。 ・第1次メンバーは10人程採用する。 ・ダンス・歌・トークによる選考で第1次メンバーを決定し、各分野の指導者によるトレーニングを行う。 ・夏までに15分程のステージパフォーマンスができるよう育成する。 ・秋に第2次メンバーを公募してパワーアップを図る。
	目標	<p>（目的とする結果、数値基準等）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・射水市内の各地で行われる夏まつりのステージや、各種イベント、啓発キャンペーンなどに参加する。 ・高齢者施設なども訪問して笑顔や元気を届ける。 ・「イミズムズムズ」の歌の新しい振り付けのダンスを披露する。 ・機会があれば県内各地へ出向いてアウェーでの活動も行う。
協働事業として取り組むことの必要性	<p>（団体や行政の特性から説明してください。）</p> <p>協働事業としてサポートしてもらうことで、地域貢献活動の場を大きく広げることが期待できます。市内で行われる夏まつりなどの観光イベント、商店街の催し、各種の啓発キャンペーンなどに積極的に参加してパフォーマンスを披露し、若さあふれる元気な射水市をアピールすると共に、新しい射水の魅力を市内外に発信していきます。</p>	

役割分担	(提案団体が果たす役割)
	<ul style="list-style-type: none"> 1. メンバー公募やオーディションの実施 2. ダンス・歌・トークのレッスンを通年で開催 3. ブッキングやステージ出演の立会いなど運営全般
事業スケジュール (別紙添付でも可)	(事業実施に伴う市の役割)
	<ul style="list-style-type: none"> 1. 各種イベントやキャンペーンなど社会貢献活動の場を提供 2. 広報誌掲載などによる PR 3. 「ムズムズくん」の活動との連携
事業効果	(準備期間、本実施期間、事業の評価等のスケジュール)
	<p>5月下旬 公募・オーディションにより第1次メンバー決定</p> <p>6月上旬 ダンス・歌・トークのレッスン開始(週1回)</p> <p>7月～9月 デビューの記者発表 夏まつりなどでパフォーマンス披露 ダンス・歌・トークのレッスン(週1回)</p> <p>10月～12月 観光イベントなどでパフォーマンス披露 各種キャンペーン参加、第2次メンバー募集、決定 ダンス・歌・トークのレッスン(週1回)</p> <p>1月～3月 各種キャンペーン参加、高齢者施設訪問 ダンス・歌・トークのレッスン(週1回) 次年度に向けた準備</p>
事業展開	(事業に取り組み、市民がどのような効果を受けるか。)
	<ul style="list-style-type: none"> 1. この事業を展開することで、ダンスや歌に関心のある小学生や中学生に、夢や目標を与えることができる。 2. メンバーは地元に住んでいる子どもたちであり、親しみやすく話題性があるうえ、パフォーマンスによる集客効果が期待できる。 3. 交通安全や火災予防、防災など、各種キャンペーンに参加することで啓発活動の普及に役立つ。 4. 高齢者施設などを訪問し、元気を届けることで喜んでもらえる。
事業展開	(協働事業終了後の事業展開)
	<ul style="list-style-type: none"> 1. 今年度の成果を踏まえ、次年度は第3次メンバー募集を行って、さらなるバージョンアップを図る。 2. 歌の上手なメンバーでユニットを結成して、「イミズムズムズ」の歌のように、市民が親しめる新しい歌を制作する。 3. 機会があれば、石川県など県外の「ご当地アイドル」に集ってもらい、射水市で「ご当地アイドル大会」を開催したい。

射水市地域振興会地域提案型市民協働事業 事業計画書

地域振興会名 庄西地域振興会

事業の名称	児童・地域住民のいこいの芝生広場	
事業の目的	(解決すべき地域が抱える課題・テーマと市民ニーズを記入ください。) 1. 地域コミュニティの形成 2. こどもの健全な心身の育成 住民の心身の健康保全・増進 3. 庄西コミュニティセンター付属の庭、広場の整備	
事業内容 (複数の事業がある場合は別紙添付でも可)	対象	(どこで、だれを対象にするのか記入ください。) ・庄西コミュニティセンター広場 500㎡ ・庄西地区住民
	手法	(いつ、どのように、何をするのか記入ください。) 6月中旬から10月中旬ごろまで、住民参加による芝生の植え付け、刈り込み、水撒き、施肥管理を行う。
	目標	(目標とする結果、数値目標等について記入ください。) ・子ども達が裸足で遊べる運動広場、また、地域住民の憩いの場、お祭り広場を作りたい。 ・住民参加の植え込み作業により、絆を太くし、達成感を味わい、やれば出来るとの誇りを持ちたい。 ・今年度の様子を見て、複数年に渡る芝生化計画を立て、事業を完成させたい。
役割分担	(地域振興会が果たす役割) 計画、芝生化事業に住民・児童に参加を呼びかけ、植え付けの実施、刈り込み、水撒き、草むしり、施肥等の管理を行いたい。	
	(事業実施に伴う市の役割) 広場の芝生化の許可、市職員の芝生管理の技術指導	

<p>事業スケジュール (別紙添付でも可)</p>	<p>(準備期間、本実施期間、事業の評価等のスケジュール)</p> <p>6月上旬 広場設計協議 6月中旬 芝生の植え付け 7月上旬～10月下旬 水撒き、施肥、刈り込み 7月下旬 六渡寺の納涼祭 9月下旬 植栽した区画の芝が全面に広がる予定</p>
<p>事業効果</p>	<p>(事業に取り組み、市民がどのような効果を受けるか。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こどもの心身の健全な育成 庄西コミュニティセンターでさんさん事業を行っており、このこども達が晴れた日に芝生の庭で、裸足でのびのび遊べるようにしたい。これが、こども達の心身の健全な育成とさんさん事業の目的に沿うものと考えている。 ・地域コミュニティの形成 芝生広場を会場として、納涼祭等を行うことなどにより、地域民の一体感・絆が深まり、地域の文化継承に多いに資する。 また、芝生広場で軽スポーツを行うことにより、親子、住民の触れ合いと健康増進に役立てたい。
<p>事業展開</p>	<p>(協働事業終了後の事業展開)</p> <p>今年度の芝生の着生度を見極め、複数年をかけて、全面の芝生化を目指す。</p>
<p>事業の継続 (平成26年度)</p>	<p>(当該年度における事業内容)</p> <p>継続事業として補助金を <input checked="" type="checkbox"/> 要望する ・ <input type="checkbox"/> 要望しない</p> <p>事業の2年目であり、芝生広場の完成度を高めたい。</p>
<p>事業の継続 (平成27年度)</p>	<p>(当該年度における事業内容)</p> <p>継続事業として補助金を <input checked="" type="checkbox"/> 要望する ・ <input type="checkbox"/> 要望しない</p> <p>前年度までの様子を踏まえ、必要な計画を立て、芝生広場を完成させたい。</p>

射水市地域振興会地域提案型市民協働事業 事業計画書

地域振興会名 大門地域振興会

事業の名称	地域住民で作る大門多目的広場	
事業の目的	(解決すべき地域が抱える課題・テーマと市民ニーズを記入ください。) 地域コミュニティの形成・地域イベント 三世代の交流と健康意識の向上 防災の拠点 新湊庄川線沿いの景観美化	
事業内容 (複数の事業がある場合は別紙添付でも可)	対象	(どこで、だれを対象にするのか記入ください。) ・ 大門多目的広場 芝張り 600㎡(1年当り 200㎡施工) フラワーロード・グリーンカーテン・植栽(桜) 休憩施設の設置を3年間で整備 ・ 大門地区住民
	手法	(いつ、どのように、何をするのか記入ください。) 6月初旬より10月にかけて住民参加により、芝張り・フラワーロード・植栽(桜)・グリーンカーテン・休憩施設等の設置
	目標	(目標とする結果、数値目標等について記入ください。) 現在の利用状況ではパークゴルフの愛好者のみの利用で、それ以外に地域イベントや近隣住民の憩いの場や子供たちの遊びの場として利用価値を高め、この事業を通じて人材の育成と連帯感の醸成
役割分担	(地域振興会が果たす役割) ・ 計画・整備事業の住民参加への呼びかけで事業実施 ・ 刈り込み、水撒き、除草などの管理 ・ 利用者増員のための呼びかけ	
	(事業実施に伴う市の役割) ・ 広場の整備化に関する許可 ・ 市職員の助言協力 ・ 利用者増員のための広報活動	

事業スケジュール (別紙添付でも可)	(準備期間、本実施期間、事業の評価等のスケジュール)	
	6月初旬	広場整備に関する協議
	6月上旬	<ul style="list-style-type: none"> ・ 芝生化のための地盤整備・植え付け ・ グリーンカーテン植え付け ・ ふれあいパークゴルフ(協賛)
	6月中旬～10月下旬	水撒き、施肥、刈り込み、除草
	8月上旬	夏祭り(協賛)
事業効果	(事業に取り組み、市民がどのような効果を受けるか。)	
	<p>地域コミュニティの形成・地域イベント 住民参加で実施することで、地域全体の一体感がより一層高まる。</p> <p>三世代間の交流と健康意識の向上 場所を確保することにより、三世代間での交流や地域で子供たちを見守る意識を高める。 芝生を利用したスポーツを通して心身ともに健康育成を図る。</p> <p>防災の拠点 災害時の避難場所としてライフラインの確保</p> <p>新湊庄川線沿いの景観美化 交通量の多い新湊庄川線沿いに面しており、フラワーロードや芝生の植栽により地域の景観を守る。 休憩スペースにグリーンカーテンを設置することにより体感温度を下げ、エコ意識の向上につなげる。</p>	
事業展開	(協働事業終了後の事業展開)	
	本年度から3年を通して、芝張り 600 m ² (1年当り 200 m ²)・フラワーロード・植栽(桜)・グリーンカーテン・休憩施設等の設置を行う。	
事業の継続 (平成26年度)	(当該年度における事業内容)	
	継続事業として補助金を <input checked="" type="checkbox"/> 要望する ・ <input type="checkbox"/> 要望しない	
	芝張り 600 m ² (1年当り 200 m ²)・フラワーロード・植栽(桜)・グリーンカーテン・休憩施設等の設置	
事業の継続 (平成27年度)	(当該年度における事業内容)	
	継続事業として補助金を <input checked="" type="checkbox"/> 要望する ・ <input type="checkbox"/> 要望しない	
	芝張り 400 m ² (1年当り 200 m ²)・フラワーロード・植栽(桜)・グリーンカーテン・休憩施設等の設置	

射水市地域振興会地域提案型市民協働事業 事業計画書

地域振興会名 「ふるさと納涼祭」開催実行委員会

<p>事業の名称</p>	<p>太閤山団地自治会発足 35 周年記念事業 「ふるさと納涼祭」および「ふるさと写真展」</p>	
<p>事業の目的</p>	<p>(解決すべき地域が抱える課題・テーマと市民ニーズを記入ください。) 3 地域振興会(旧自治会)は昭和 40 年第一回の入居者 49 名のスタートが始まり昭和 47 年に太閤山自治会が発足、昭和 52 年ショッピングセンターパスコが開設。昭和 53 年に人口増加に伴い、太閤山自治会より中・南自治会が分離独立した。 中・南自治会は、今年 4 月より自治会と振興会が一体化され、加えて自治会の分離独立から 35 年となることからこれらを記念して地元商業施設を取り込んで合同で行うもの。</p>	
<p>事業内容 (複数の事業がある場合は別紙添付でも可)</p>	<p>対象</p>	<p>(どこで、だれを対象にするのか記入ください。) 納涼祭は太閤山 3 地区全域の住民、特に三世代を中心としたイベントを考える。 また、お盆に近いことから、帰省中の二・三世代に対しても故郷の良さを実感してもらえるような企画をしたい。 「ふるさと写真展」については、広く住民に太閤山地区の変化を目で見てもらい改めて郷土愛の醸成を図る。</p>
	<p>手法</p>	<p>(いつ、どのように、何をするのか記入ください。) 8 月 11 日お盆前の日曜日にパスコ北側 196 台分の駐車場を借り上げて行う。当日は(市保有バス)による無料シャトルバスを全域に巡回させ高齢者をはじめ障害者や子どもたちの足の確保に努める。直近にはチラシを全戸配布し周知徹底をはかる。 また、理事会や町内会等集会が行われる所では開催を PR する。写真展示については、パスコおよび各センター、学校で巡回展示を依頼する。</p>
	<p>目標</p>	<p>(目標とする結果、数値目標等について記入ください。) 地域住民の参加(設営準備、企画、交渉)を含め、3 地域振興会の交流を深めていきたい。子どもや孫達のためにも記憶に残る「ふるさと納涼祭」として盛り上げていく。 地域住民の 1000 人程度の参加を期待している。</p>
<p>役割分担</p>	<p>(地域振興会が果たす役割) 3 振興会の交流を始め作業分担や地元企業(パスコ)を巻き込んだ運営。各振興会のオリジナル出し物を検討。 地域の人々が太閤山に住んで良かったと、祭りを通じて小さいころのふるさとを体感してもらおう。 子どもや孫達も地域の人々の交流や絆の大切さを実感するとともに、思い出づくりの一助としたい。</p>	

	<p>(事業実施に伴う市の役割) 市保有バスの確保(予約済)、職員応援団の協力(企画、設営配置) 市広報によるPR等。 ムズムズ君の出演要請。</p>
<p>事業スケジュール (別紙添付でも可)</p>	<p>(準備期間、本実施期間、事業の評価等のスケジュール) 別紙のとおり</p>
<p>事業効果</p>	<p>(事業に取り組み、市民がどのような効果を受けるか。) 3地域振興会の今後の運営に関して一体感の醸成。 イベント開催に伴う郷土愛の涵養。 子ども達を含めて祭りの楽しさを次年度以降開催に対する期待感を抱かせる。地元企業との一体感と協調性の確認が出来る。 巡回展示終了後は、パネルを学校へ寄贈することで故郷の認識を高めてもらう。</p>
<p>事業展開</p>	<p>(協働事業終了後の事業展開) 反省を踏まえて今後のあり方を検討する。(毎年、2・3・5年毎の開催) 今後3振興会が実施できる企画等の検討(安全・防災・減災・備品の融通等) 住宅地における問題点の抽出や検討会の開催等考えられることは大きな課題となる。</p>
<p>事業の継続 (26年度)</p>	<p>(当該年度における事業内容)</p> <p>継続事業として補助金を 要望する <input checked="" type="radio"/> 要望しない</p>
<p>事業の継続 (27年度)</p>	<p>(当該年度における事業内容)</p> <p>継続事業として補助金を 要望する <input checked="" type="radio"/> 要望しない</p>

事前準備工程表

「ふるさと納涼祭」開催実行委員会

項目	5月			6月			7月			8月	
3振興会合同打合せ(4/28)進捗状況確認			↔		↔				↔		
提案書提出	5/2										
同プレゼンテーション			5/26								
小委員会(月2回)部門別進捗状況等の確認	5/9	5/20		6/12	6/27	7/10		7/29	8/7		
・催事内容の詳細検討	→										
・作業分担表の決定	→										
・当日プログラムの策定・出演交渉			↔								
・会場の配置図作成(テント・舞台・配線)		↔									
・パスコとの打合せ			↔		↔		↔				
・展示用パネルの作成			↔								
・会場設営業者と打合せ			↔								
・飲食ブースの資材発注					↔						
・見積書の取りまとめ					↔						
・広報(チラシの配布)								↔			
・市報への掲載依頼					↔						
・パネル掲示板借用								↔			
最終確認								↔			

準備・実施行程表

8月11日(日)

22

	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	備考
テント設営	←→ 1時間											
椅子・テーブル搬入		←→ 1時間										
ステージ設営 (トラック・装飾・電気)		←→ 1時間										
音響設営		←→ 1時間										
外灯(夜店用)		←→ 1時間										
ヤグラ組み立て		←→ 1時間										仮押え
太閤小・中太閤小 管楽器演奏						←→ 1時間						
南中吹奏楽演奏							←→ 30分					
よさこい踊り							←→ 30分					仮押え
カラオケ大会 (地区5名×3)								←→ 1時間				
歌謡ショー (長岡すみ子)									←→ 30分			仮押え
歌謡ショー (SOUL GARDEN)									←→ 30分			仮押え
盆踊り(正声会)										←→ 30分		
後片付け											←→ 1時間	
夜店				←			15:00~21:00迄					

集合時間 各担当は、12:00迄パスコ駐車場 設営準備して集合下さい。